

平成27年度 学校自己評価システムシート (県立越谷東高等学校)

目指す学校像	目標を高く持ち前向きに努力する生徒を育て、地域から信頼される学校
--------	----------------------------------

重点目標	1 生徒の学習力を高める 2 規律ある生活態度を身につけさせる 3 目先に左右されない進路決定を実現する 4 部活動を活性化する 5 地域との連携を深める
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	10名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標				年度評価(2月12日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体が落ち着いて授業に取り組んでおり、基礎学力の向上も見られる。授業内容の工夫や生徒の家庭学習の定着により生徒の学力を向上させることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上を目指した授業改善を進める。 家庭の学習時間を増加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業評価アンケートを適切にフィードバックし、授業改善につなげる。 ②各教科の特性を生かし、家庭学習の習慣をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒アンケートの授業満足度が向上したか。 ②家庭学習の時間が増加したか。 	学力向上は道半ばである。 ①生徒の授業満足度は84%であった。昨年度より1ポイント低下した。 ②予習・復習をしている生徒は27%であった。昨年度より家庭学習の時間が減少している。	B <ul style="list-style-type: none"> 授業アンケートの結果を教員が真摯に捉え、研修会を実施し、授業改善に努める必要がある。 適切な課題を提供するなど、生徒自身が家庭学習に意欲的に取り組めるようにする。
2	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が自覚を持った生活が送れるようになっており、地域からも評価されている。今後も継続して指導していくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に規律を守る態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①挨拶や服装の指導を通し社会性を向上を目指す。 ②学校全体の統一した指導や家庭との連携を深め、基本的生活習慣の確立に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①挨拶や服装などの指導が徹底できたか。 ②欠席率及び遅刻率が減少したか。 	規律正しい生活が送れている。 ①制服着用が徹底され、挨拶も元気にできるようになった。 ②欠席率は1.4%、遅刻率は0.9%で昨年と同様であった。	A <ul style="list-style-type: none"> 挨拶については、学年が上がるにつれてしっかり出来る傾向にある。学校全体としてさらなる共通理解を図りたい。 基本的生活習慣がしっかりできている。今後も継続した指導を行いたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の多様な進路希望に対応できるようなきめ細かな進路指導の充実と指導体制の確立が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路情報を適切に提供し、一人一人の進路意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進学・就職それぞれに対応した計画を立て、面談や個別指導を充実させる。 ②長期休業や日常の放課後を利用して、進路補習をすることにより進学を強力にバックアップする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進路希望未決定者数が減少したか。 ②大学・短大への進学率が増加したか。 	進路意識の向上が見られた。 ①学年、分掌の一貫した指導により進路希望未決定者が減少した。 ②進学率はほぼ昨年と同様であった。県立大学など第一希望の学校に合格する生徒が増加した。	A <ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路意識を向上させる取り組みを引き続き継続していく必要がある。 安易な進路決定にならないよう、働きかけを続けていきたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> 各部活動の活動内容が徐々に向上してきている。部活動の加入率を高め、より一層の活性化をする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の参加率を上げ、活動内容や成績の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ①文化祭や体育祭などで、活躍できる場面を増やし、部員のやる気を引き出す。 ②中学校や他校との積極的な交流により、生徒の満足度を上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①部活動の加入率が増加したか。 ②部員の活動満足度が向上したか。 	部活動の活性化が急務である。 ①1年生は部活動全員加入しているが、学年が上がるごとに加入者が減少している。 ②生徒アンケートによると80%以上の生徒が部活動に積極的に参加していると回答した。	B <ul style="list-style-type: none"> 3年間部活動を続ける意義を生徒に伝え、退部する生徒を減らしたい。 部活動に積極的に参加し、成果を残している生徒も増えている。この動きをさらに広げていきたい。
5	<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育活動に対する理解を図るため、地域や保護者との連携をさらに深める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域に学校情報を発信し、本校の教育活動の理解を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ホームページの更新を週に3回以上行い、常に新しい情報を発信することにより、本校への関心を喚起する。 ②70万人体験活動や出前授業や学校訪問など地元の小・中学校との交流を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ホームページの更新回数やアクセス数は増加したか。 ②小・中学校との交流が盛んになったか。 	外部への働きかけが増加した。 ①校長日記(72話)をはじめ週3回以上ホームページを更新することができた。アクセス数が増加し過去最高となった。 ②東越谷小学校、城ノ上小学校、東中学校とサマースクールやスポーツ交流を実施することができた。	A <ul style="list-style-type: none"> 部活動の報告など課題もあるが、学校の状況を細かく知ってもらえることができた。 地元小中学校との交流を深めるとともに地域の方々にもこれらの行事を広報していきたい。

学校関係者評価	
実施日	平成28年2月19日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習時間の不足は小中高大共通の課題となっている。本人の自覚が何より大切で、「勉強すること」は「楽しいこと」であるというポジティブな思考の定着こそが学校の目的であろう。 多くの生徒が大きい声で挨拶ができるようになり、以前の学校と比べ隔世の感がある。 引き続き同様の指導を推進してもらい、中学生など外部の人にとって見本となることを目標にしてほしい。 進路に関する指導が計画になされ進路先の充実に繋がっている。 社会生活を送るために、コミュニケーション能力が非常に重要になってきている。会話することの大切さをきちんと理解することが必要である。 中学でも部活動を継続させるのは難しくなっている。生徒には仲間と活動することや技術が向上した時の喜びを感じてもらいたい。 今の時代はSNS等の楽しみができたため、部活動の魅力が感じづらくなった。部活動は集中力を上げることに役に立つので、ぜひ推進してほしい。 ホームページから情報を得ることが多いので頻りに更新されることは、在校生や中学生・保護者にとって大変有り難いことである。 地元小学校との連携は高校では珍しい取り組みである。こういった取り組みをこつこつ積み上げることによって、越谷東高校の良さを知ってもらうことが大切である。 	